

秋葉区(新津地域)における景況調査の結果概要(2025年1月～3月期)

- 1.調査対象 100事業所(有効回答数83社、回答率83%)
- 2.対象期間 2025年1～3月期実績 及び 2025年4～6月期の見通し
- 3.調査結果の概要

今回の調査における全業種の業況DIは、前期の-48.5から今期は-39.8へとマイナス幅が縮小し、やや持ち直した結果となったが景気全体としては依然として厳しい水準にある。

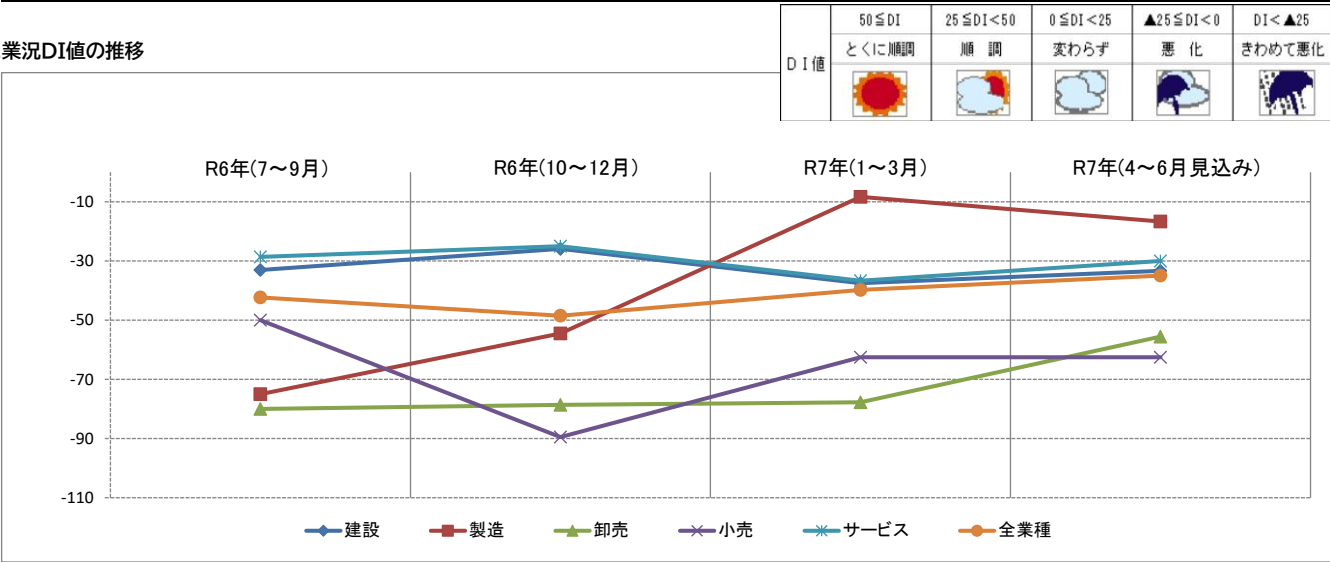
また、業種ごとのバラつきも大きく、建設業・サービス業・卸売業では依然として業況DIが大きくマイナスを記録しており、厳しい状況が続いている。特に卸売業は業況DIが-77.8と低水準にとどまっているが、仕入単価DI(-78.6→-66.7)や従業員数DI(-21.4→-11.1)においては小幅ながら回復の兆しが見られた。小売業や製造業では採算DIや資金繰りDIが前期より改善し、相対的に業況の回復基調が見られる業種も存在する。

また、「仕入単価の上昇」と「需要の停滞」が全業種共通の大きな経営課題として挙がっており、物価高と需要低迷のダブルパンチが依然として地域経済に重くのしかかっている現状がうかがえる。

4.業種別項目別のDI値※()は見通し

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
売上高	△ 25.0 (△ 25.0) 	8.3 (8.3) 	△ 44.4 (△ 11.1) 	0.0 (0.0) 	△ 20.0 (△ 20.0) 	△ 18.1 (△ 14.5) 
仕入単価	△ 75.0 (△ 70.8) 	△ 66.7 (△ 83.3) 	△ 66.7 (△ 66.7) 	△ 50.0 (△ 62.5) 	△ 46.7 (△ 56.7) 	△ 60.2 (△ 66.3) 
採 算	△ 45.8 (△ 33.3) 	△ 16.7 (△ 8.3) 	△ 33.3 (△ 44.4) 	△ 62.5 (△ 50.0) 	△ 26.7 (△ 36.7) 	△ 34.9 (△ 33.7) 
資金繰り	△ 12.5 (0.0) 	△ 16.7 (△ 8.3) 	△ 22.2 (△ 33.3) 	△ 50.0 (△ 37.5) 	△ 16.7 (△ 20.0) 	△ 19.3 (△ 15.7) 
従業員数	0.0 (8.3) 	8.3 (8.3) 	△ 11.1 (0.0) 	12.5 (0.0) 	3.3 (6.7) 	2.4 (6.0) 
業 況	△ 37.5 (△ 33.3) 	△ 8.3 (△ 16.7) 	△ 77.8 (△ 55.6) 	△ 62.5 (△ 62.5) 	△ 36.7 (△ 30.0) 	△ 39.8 (△ 34.9) 

5.業況DI値の推移



6. 価格高騰による企業活動への影響について

影響は継続している	影響は出たが、既に収束した	今後影響が出る可能性がある	影響なし
72%	22%	0%	6%